

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 栃木県
3. 交付金事業の実施場所 栃木県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ 原子力・放射線の学習に関する教材の整備（栃木工業高校、栃木翔南高校、足利高校、真岡女子高校、真岡工業高校）
放射線測定実験セットや小型ペルチェ霧箱等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。
- ・ 発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（栃木工業高校、栃木翔南高校、足利高校、真岡女子高校、真岡工業高校）
水力発電実験模型や風力発電機等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

【市町村事業】（壬生町）

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ 原子力・放射線の学習に関する教材の整備
町内の1つの中学校を対象に空間線量計を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。
- ・ 発電・エネルギーの学習に関する教材の整備
町内の2つの中学校を対象に電動機・発電機の観察模型、モーター原理実験器等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

【市町村事業】（野木町）

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ 発電・エネルギーの学習に関する教材の整備
町内の5つの小学校及び2つの中学校を対象におもりの衝突実験器、力学的エネルギー実験機等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 5, 272, 411円

交付金充当額 5, 272, 411円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒の理解が促進された（深まった）と回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業で目標 80%に対して実績 100%だった。実験器具・実験材料の整備を実施したことにより、教科書だけでなく、実際に実験や観察を行う体験的な学習を行うことで、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、児童・生徒等の理解が促進されたと評価できる。
- ・原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業で目標 80%に対して実績 100%だった。原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備事業が促進されたと評価できる。